

# 議会だより つしま

No.26

2024

11月

令和6年

私たちはこの笑顔を守ります



対馬空港 空の日 空港まつり (R6.9.28)

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ★第3回定例会の概要 …… 2  | ★意見交換会報告 …… 11  |
| ★常任委員会報告 …… 3～5  | ★議員研修会報告 …… 11  |
| ★会派代表質問 …… 6～7   | ★ジェットフォイル更新について |
| ★第3回定例会一般質問 7～10 | 不穏当発言について       |
| ★行政視察報告 …… 10    | 編集後記 …… 12      |



## 令和6年第3回対馬市議会定例会の概要

令和6年第3回定例会が9月10日から9月26日(17日間)の日程で開かれ、27件の提出議案等について審議されました。

会派代表質問は2会派、一般質問は6人が登壇し、活発な議論が展開されました。

### 主な議案

予 算 案 4件

(令和6年度対馬市一般会計補正予算(第5号) ほか)

全件 可決

認 定 案 8件

(令和5年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか)

継続審査

条例案・条例改正案 5件

(対馬市企業誘致に関する条例の一部を改正する条例 ほか)

3件 可決  
1件 継続審査  
1件 撤回

議 決 案 2件

(工事請負契約の締結について ほか)

全件 可決

決 議 案 1件

(長崎県指定有形文化財【観世音菩薩坐像】の早期返還を求める決議)

可決

意 見 書 案 3件

(総合的な防衛体制の強化に資する特定利用空港・港湾への指定を求める意見書 ほか)

全件 可決

そ の 他 4件

(専決処分の承認を求めることについて(令和6年度対馬市一般会計補正予算(第3号)) ほか)

全件 可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会  
ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



### 12月定例会の お知らせ

令和6年第4回定例会は、12月中旬に開催を予定しています。  
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



## 総務文教常任委員会報告

委員長 陶山 莊太郎

### 付託案件審査報告

【議案第52号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第5号）

#### ●主な歳入の内訳

- 地方交付税（普通交付税）の追加
- 合併振興基金繰入金（ジェットfoil更新支援）の追加
- 前年度剰余金の追加
- 教育施設改修事業債（厳原中学校長寿命化）の追加

#### ●主な歳出の内訳

- CATV管理委託料（光サービス移行業務）の追加
- ジェットfoil更新支援事業補助金及び第1次産業プラス副業支援事業補助金の計上
- 島おこし協働隊（新規任用分）報酬等の減額
- 庁舎・学校・運動公園・集会所などの修繕等に係る需用費及び工事請負費の追加
- ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆
- 移住・定住に関する事業は、実績を分析し、定住に繋がるように進めてもらいたい。
- 総合運動公園は、地域の現状に応じたコンパクト化を検討する必要があるのではないか。

【発議第4号】国境、対馬市平和の日条例

#### ●条例の内容（抜粋）

- 今年、元寇750年となる。近年、イスラエル、ウクライナ戦争等が絶えない、日本国憲法に謳う世界平和は人類普遍の原理である。ここに歴史の史実を確認し過去の戦争を顧みて国境対馬より平和の日を定める。

- 国境、対馬市平和の日は、11月2日とする。
- 市は、国境、対馬市平和の日を中心とした事業を実施する。（以下省略）

#### ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

- 太字横線部の趣旨は理解できるものの、元寇750年やイスラエル、ウクライナ戦争等は、永続的な条例にはそぐわない。
- 条例の月日及び事業内容（予算含む。）は、市とも協議し、更なる審査が必要である。

【請願第1号・第2号】義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ、ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願

#### ◆ ◆ ◆ 審査結果 ◆ ◆ ◆

【議案第52号、請願第1号、第2号】原案のとおり可決・採択  
【発議第4号】閉会中の継続審査とする。

### 所管事務調査報告

#### 光サービス移行への現状と問題点

##### しまづくり推進部

#### ●市の情報通信事業の移行内容

- テレビ放送
- 現行のまま、市が指定する指定管理者が運営

#### ●インターネット

民間事業者の光インターネットに移行料金は、事業者により異なるが月額約6千円

#### ●IP電話

移行完了後にサービス終了

#### ●移行工事のスケジュール

- 令和6年度…万間橋付近までの下島エリア
- 令和7年度…上島エリア
- 現在は、下島エリアを3地区に分け、それぞれに集中期間を設定し、工事を進めている。
- 10月31日までに厳原町小浦から久田、尾浦、安神及び美津島町根緒の工事を進めている。

#### ●事業における主な問題点

- NTTからの確認や調整の電話に、詐欺などを警戒し、出ない方が多く調整が困難
- 民間事業者から、頻繁に勧誘電話や訪問があり、市民の困惑を招いた。また、事業者の比較・選択及び手続きなどの問い合わせが殺到

#### ●今後の対策

- 案内文書にNTTの電話番号を掲載し、着信に対する対応を依頼する。
- 移行に関する相談会を業者の営業開始よりも早期に実施し、円滑な事業の実施を図る。

#### ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

- 行政区を通じ、適正な区域ごとに早期の事前相談を実施してほしい。
- 市民のニーズに応じたきめ細かく、わかりやすい説明をしてほしい。
- 集中工事期間には、柔軟性を持たせてほしい。



## ■ 厚生常任委員会報告

委員長 島居 真吾

### 付託案件審査報告

【議案第52号】 令和6年度対馬市一般会計補正予算（第5号）

#### ● 主な歳入の内訳

- ・ 児童手当制度改正に伴う子ども・子育て支援事業費補助金の追加
- ・ 10月から開始する新型コロナウイルスワクチン定期接種に対する助成金の計上

#### ● 主な歳出の内訳

- ・ 固定資産所有者照合業務委託料の追加
- ・ 対馬市保育所配置計画に基づく難知保育所用地不動産鑑定委託料の計上
- ・ 乳児紙おむつ費等助成給付費の計上（令和6年4月1日以降に対馬市に住所を有する乳児の保護者が対象）
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種費用の一部を助成する予防接種事業委託料の追加

今回の補正予算は令和6年10月からの児童手当制度の改正により、

#### ① 所得制限の撤廃

#### ② 高校生年代までの支給期間延長

③ 多子世帯において第3子以降は3万円支給とする等、抜本的拡充に伴う対応経費等、子育て世帯への経済的負担の軽減と経済的支援の強化に向けての取組が盛り込まれている。

#### ◆ ◆ ◆ 審査結果 ◆ ◆ ◆

【議案第52号】

原案のとおり可決

### 所管事務調査報告

調査日 令和6年8月26日

#### 豊玉こども園について

福祉部

#### ● 整備内容

対馬市保育所配置計画に基づき、就学前の保育教育の場づくりや、施設の老朽化問題の解消等、安心・安全な子育て環境の整備に取り組んでいる。9月1日に開園した豊玉こども園は、保育所型こども園で、ベイスは保育所で幼稚園機能を付加したもの。

建設事業費の概要は、令和3年度から令和6年度までの総事業費約9億100万円。園舎は木造平屋建てで、外観部分は長崎県産材、内部の端柄材は対馬産材。

豊玉こども園の定員は120名。内訳は、幼稚園部の1号認定児は30名、保育園部の3歳以上児は60名、3歳未満児は30名。

#### ● 園児数

8月1日現在、統合する豊玉南保育所と仁位へき地保育所の園児70名に、新規入園児10名を加えた80名でスタートする。

#### ● 職員数

9月1日以降の職員は、正規職員5名、月額会計年度任用職員6名（園長を含む）。必要に応じ、月額会計年度任用職員を配置し、円滑な運営ができるように対応する。

### ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

今後においても、対馬市保育所配置計画に基づき、児童数や地域の状況を踏まえながら、適正な公立保育所整備を進めていただきたい。



## ■ 産業建設常任委員会報告

委員長 坂本 充弘

### 付託案件審査報告

【議案第52号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第5号）

●主な歳入の内訳

- ・公共土木施設災害復旧費負担金の計上
- ・農林水産施設災害復旧費補助金の計上
- ・河川の新規しゅんせつ工事河川債・住宅債の追加及び計上
- ・緊急自然災害防止事業による道路橋りょう債の計上

●農林水産施設災害復旧債の追加

●主な歳出の内訳

- ・農村景観保全事業費の計上
- ・農業用関連施設調査費用及び保安林災害復旧費の追加及び計上
- ・湯多里ランドつしま指定管理委託料の追加
- ・道路河川災害復旧費等の工事費の追加及び計上
- ・河川新規しゅんせつ工事費の計上

【議案第58号】対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例

●改正理由

（株）東横イン所有の厩舎及び附帯設備を借り受け、動物展示施設として10月1日付で供用開始する。

●改正内容

施設の名称を「三宇田馬事公園」、位置を「対馬市上対馬町西泊1217番地5」を加え、附則で施行期日を令和6年10月1日とする。

### ◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

【議案第52号】

原案のとおり可決

【議案第58号】

原案のとおり可決

### 所管事務調査報告

調査日 令和6年8月20日

屋外広告物規制の現状と課題について

建設部

●現況

屋外広告物が無秩序に氾濫し管理もおろそかになると、街並みや自然の景観を損ない、人々に危害を及ぼす恐れもある。

平成14年4月より長崎県から屋外広告物の取扱いについて対馬市へ権限移譲され、長崎県屋外広告物条例を適用。平成31年4月1日対馬市景観計画を施行、対馬市は厳原都市計画区域のみを屋外広告物の許可地域とし、県から承認を得ている。

●今後の課題

市内全域の屋外広告物の件数を把握するにあたり、調査費用の高額が懸念される。

住民・事業者への周知・啓発については、現在屋外広告物条例の適用範囲は厳原都市計画区域だけだが、市全域を対象とした時に許可対象物の管理者に申請手続き・許可手数料が発生することを認識して頂く必要

がある。既に条例を制定している他の自治体の情報収集を行い、対馬らしい風情や景観が損なわれないよう対馬市独自の屋外広告物条例の制定をしなければならない。

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

対馬は広いので、まずは守るべきところを注視し、現在、独自の屋外広告物条例を設定する方向で進めていることを、CATVや広報を利用して周知を促し、該当する事業者とはよく相談をして理解を求め、条例制定となるよう努力して頂きたい。





# 市政を問う

2会派が会派代表質問  
6名の議員が一般質問



対政会…P6  
伊原 徹…P8  
大浦 孝司…P9

新政会…P7  
小宮 教義…P8  
波田 政和…P10

入江 有紀…P7  
脇本 啓喜…P9

## 対政会



小島 徳重議員

### ◆日本語学校の開設は

(小島) 日本語学校を開設し、留学生を受け入れ、対馬の活性化を図る考えはないか。

(市長) 島内での日本語学校の設置や継続の可能性など、調査、研究を行ってきたい。

(小島) 調査研究にどのくらいの期間を想定しているか。

(市長) できる限り早い段階で実現に向けて研究したい。

### ◆対州馬の保存と活用促進は

(小島) 対州馬の保存と活用は計画どおりに進んでいるか。

(市長) 対州馬保存計画、対州馬活用推進計画、あそくベイパーク整備計画に基づき、対州馬の保存及び利活用のための施設整備、必

要な人材確保を進めている。本年8月末現在、44頭に増頭している。乗馬体験や対州馬少年倶楽部の運営、都市の子どもたちとの地域間交流事業等を実施している。

(小島) 市の天然記念物・対州馬を県の指定、将来的には国の天然記念物に申請したかどうか。

(市長) 県の天然記念物に指定されたとしても、保存・利活用において大きく変わることはない。指定による制約もある。現在の方針に沿って取り組む

(小島) 対州馬を県・全国に知ってもらうことは、観光の大きな資源となる。

※その他、対州馬の保存・活用に関わり、現場で働いている方々の待遇についても質問した。

## 新 政 会



船越 洋一議員

◆市内の各区長からの陳情・要望等の状況は

(船越) 市内に181地区あるが、全体で陳情・要望等は何件くらいあるか。また、その対応は。

(市長) 令和5年度、地区要望は全体で581件。うち、187件について対応している。市に対する要望は133地区、463件。うち、176件について対応している。また、来年度から地区の要望に対する予算を計上し、回答書についても丁寧な説明をしていく。

◆対馬産赤毛和牛のブランド化は

(船越) 対馬は古来より民間で赤毛和牛が飼われているが、対馬産赤毛和牛としてブランド化できないか。

(市長) 今後、対馬生まれの赤牛として食肉を市内の飲食店等で普及させることができるかを、関係機関と連携を図りながら、助成の必要性も含めて多方面から協議を進める。

◆企業誘致の現状と今後の対策は

(船越) 現在、対馬市には、廃校舎4カ所、市有地は厳原町東里に3カ所、豊玉町鑑川、峰町櫛等、多くの市有地があるが、廃校舎、市有地も含めて売却して誘致する考えはないか。

(市長) 国内、外国企業は問わず、原則として市有地は売却せず、年数を定めた無償貸与が基本であるが、立地企業の事業内容、経営状況、資本金等を考慮し、売却することが望ましいと判断される際は、市議会の意見を聞いたうえで売却することができると考える。



入江 有紀議員

◆市長が対馬市職員住宅管理規程に違反して職員住宅に住んでいた件を問う

(入江) 6月に一般質問した件について、対馬市のトップとして責任を取るべきだが、6月の議会で上程しなかった。責任を取るべき。

(市長) 報酬の減額までは考えていない。議会の場で謝罪することをもって説明責任は果たしたものと考えている。

◆生ごみクリーンコンポの廃止は

(入江) 平成27年から収入もなく、毎年3千万円以上の資金をつぎ込んでいるが、廃止すべきでは。

(市長) 現在、収入もなく、大きな予算を必要とする分別回収だが、非常に重要で、

今後のごみ処理事業の鍵を握る取り組みである。

◆水道メーター取替

(入江) なぜ市民に連絡もせずに取りかえたのか。

(市長) 発注者である水道局の市民に対する配慮が欠如したことを深く痛感しており、お詫び申し上げます。

◆中部中継所全般

(入江) 正職員が動物死体一時保管冷凍庫を1年余りも無断で使用しても処罰しなかったのもおかしいが、8年間も働いていた会計年度任用職員を4人も辞めさせるなど、市のやり方はおかしい。

(市民生活部長) 採用試験は公正に実施されていることを理解いただきたい。



伊原 徹議員

◆観光客誘致拡大

(伊原) 対馬市は観光客誘致に向けたイベント情報が乏しい。

イベントを進める上で市の役割は。

(市長) 年間を通じた市内イベント情報を公式LINEで発信しているほか、観光おもてなし事業として、観光物産協会のホームページにおいて情報発信を行っている。今後も主催者との情報共有を図りながら、福岡事務所を拠点とした情報発信にも取り組み、さらなる観光客誘致拡大に努める。

◆加速する人口減少の最大の要因は

(伊原) 児童数の減少によって、学校統廃合が加速傾向にある。未来の主役へ繋ぐため、独自の子育て支援制度拡大や移住・定住化は。

(市長) 対馬市しまぐらし応援室を設置している。さらに、都市部などで合同企業説明会や、移住相談会での各種補助金制度等の情報発信などに取り組んでいる。

また、対馬で生まれ育ち、活躍する人材育成確保のため、出産前から高校卒業までの切れ目のない子育て支援策に加え、現行制度の検証や独自の新規事業に取り組んでいる。

◆救急救命搬送活動の展開

(伊原) 救急救命活動の具体的な取組、救急救命士の採用・退職の動向は。

(市長) 事業所や学校での救命講習に加え、毎週土曜日に消防署で普通救命講習会等を実施している。

救急車の出動件数は増加傾向だが、救急搬送の約半数が軽傷である。

救急搬送車内での心肺機能停止措置などの特定医療行為の搬送活動体制維持に影響のないよう、救命士確保は重要課題であると考えている。



小宮 教義議員

◆新庁舎建設事業

(小宮) 事業計画年度、建設予定場所、予算規模と今後の資金計画は。

(市長) 基金は設置しているが、全体計画はまだない。

◆学校給食費無償化

(小宮) 長崎県下小中学校の給食費無償化が進んでいるが、対馬市は今後どのように対応するのか。

(市長) 無償化の実施には大きな財政的負担を伴う。社会全体で安心して子育てできる環境を確保するとともに、保護者の負担軽減となることから、国の政策として実施すべきものである。また、長崎県市長会の重点項目として国へ要望をしている。実現に向け、国の責任と財源による必要な措置

を講じるよう、引き続き国や県に働きかける。







脇本 啓喜議員

# ◆所信表明の内容を問う

(脇本) 中高年の婚活支援も行えば互いの老親や、互いの介護への備え、医療・介護関連歳出削減にもつながる。

(市長) 提案も踏まえ、幅広く参加しやすいイベントの開催、相談、個別フォローを実施する。

(脇本) 広い島内の医療や介護サービス資源は大きく異なる。きめ細かな地域包括ケアサービスを提供するには、上・中・下の最低3地域に分けた地域別協議をメインにすべき。

(市長) 地域ごとに協議することは重要であり、本年度から5か年で、市内全ての地区を対象に住民座談会を実施する。

(脇本) 上対馬病院新築移転に関する住民説明会の早期開催を求める。

(市長) 新病院の概要がある程度まとまった段階で、地域の方々に説明を行う。

(脇本) 対馬市が求める企業誘致像は。

(市長) 女性が中心と想定される情報処理等を含む事務系を最優先に誘致に取り組む。環境、社会、企業統治の観点から投資先を評価して行う投資対象事業や国際的食品衛生管理規格及び水産資源と環境に配慮し適切に管理された持続可能な漁業で獲られた天然の水産物の証・MSCの認証取得支援の必要性は十分理解でき、SDGsアクションプランに則り検討する。

(脇本) 運賃補助等一過性の交付金だけでなく、中長期的展望が見込める事業支出への転換を図るべき。特に、島内の内需を喚起・創出が重要だ。

(市長) その割合を変えるのは困難である。



大浦 孝司議員

# ◆海域活断層県調査

(大浦) 県防災企画課が、九州北部・西部沖合の活断層の調査を行うと新聞紙上に取りざたされていることについて、どのように把握しているのか。

(市長) 政府の調査結果で得られた断層の位置・深さ・マグニチュード等を基に今後詳細な調査を実施するか否かを検討することとなっているようである。

# ◆箕形(縣ノ浦)圃場整備後の水田管理

(大浦) 箕形地区の水田の海岸堤防で2年前に災害が発生した。水田に海水が流入し、米の作付ができず、本年度も耕作不能となっている。現状をどのようにとらえているか。

(建設部長) 調査では、フラップゲートに一部欠陥も見受けられたが、根本的な解決に至っていない。今後県とともに原因を究明したいと考えている。

(大浦) 参考として聞いてほしいが、この堤防は対馬市独特の干拓事業によるものであり、浅茅湾に面した事業個所は多数存在している。一般的には江戸時代以降に工事が行われたものと推測される。工法は、海側及び内提側の石積みの間は赤土で締めていることを配慮し、調査に活かしてほしい。

# ◆一般社団法人「島の海と陸を豊かにする会」のプロジェクト

(大浦) 同会は将来、対馬での水素の生産構想を描かれているようだ。市の動き、熱意は低調だと思う。どのように受け止めているのか。

(市長) 水素に対して今の段階では詳しい状況・内容を把握していない。今後とも同会と話していきたい。



波田 政和議員

## ◆人口減少に対する歯止め 政策の実績と成果

（波田）基準財政収入と交付税相当額から見た定住の必要性について、農林業・水産業・商工業への支援策が、はたして歯止めになったのか。また移住者の声は。

（市長）交付税等についてはまだ進展していない。農林業に関しては、価格が高騰した肥料や飼料、海上運送費の支援を実施している。また、担い手対策事業により、林業事業体の労働生産性の向上を図り、木材の生産量を増加することで、所得向上や民間の参入を図っている。対馬独自の政策として、原木椎茸の種駒及び原木の購入についても支援している。今後更なる拡充を図り、林業振興及び雇

用の増加に繋げたい。

水産業については、今後は後継者の育成、外国人労働者の積極的雇用や、獲る水産業だけでなく養殖業なども後押ししていきたい。

商工業においては、販路拡大等支援策を展開し、コロナ禍で低迷していた国内観光客、国際航路の再開によるインバウンドが回復基調にあり、関係人口の拡大に寄与している。人口減少対策としてU・I・ターンの推進事業に取り組み、好感触の意見をいただいている。

## ◆公共工事が地元事業者育成・定住に繋がっているか

（波田）専門部分などを別発注し、対馬市独自の基準を設けて、次世代の人材育成や定住に繋げては。

（市長）研修・給与と福利厚生の実施や、安全な労働環境、社内環境などにより、人材確保に取り組んでいる。できる限り工夫しながら、分割発注等に努めていく。

## 議会運営委員会行政視察報告

平戸市・西海市 令和6年7月31日（水）～8月2日（金）

今回の視察は令和6年対馬市議会第2回定例会において可決された、議員定数削減後（19名→17名）の委員会構成等について見識を深めました。

平戸市では、議会運営委員会全員と、西海市では副議長と議会運営委員長との意見交換を行い、平戸市では、早くから2つの常任委員会運営しており、委員からは約半分の予算を審議できて、議員としての資質が向上するなどの意見を伺いました。

西海市では、対馬市と同様に、議員定数の2名削減が決まっており、現状の検討状況などを意見交換し、同じ問題点や、新たな切り口での意見も伺い、非常に有意義な意見交換ができました。

この視察結果を踏まえて、対馬市の議会運営が円滑となるよう、議会運営委員会で協議を進めていきます。





## 産業建設常任委員会 意見交換会報告

対馬農業協同組合 令和6年8月9日(金)

産業建設常任委員会は、対馬農業協同組合本店3階大会議室において、対馬農業協同組合組合長をはじめ、各理事・各部長にご出席いただき、意見交換会を開催いたしました。

対馬市議会の概要について説明した後、対馬農業協同組合側から事業概況等の説明があり、その後、意見交換を行いました。様々な意見交換ができ、大変有意義なものとなりました。

今後においても、異業種の団体との意見交換会を開催し、意見交換を重ねることにより本委員会の活動の参考にするとともに、今後の議会報告会のあり方についての参考にしていきます。



長崎県市議会議長会主催の長崎県市議会議員研修会がアルカス佐世保において、開催されました。

県内各市の議員が参加し、「老朽化に備える公共施設マネジメント政策」について、地方議員研究会の黒瀬雄大氏の講演がありました。対馬市議会からは、議長をはじめ、議員6名が参加し、講演を通じて知識を深めました。

対馬市でも公共施設の老朽化は大きな課題です。老朽化した公共施設を更新するのか、それとも除却するのか。市議会議員としての立場からあらためて考える機会となりました。

## 議員研修会報告

佐世保市 令和6年8月22日(木)





## ジェットfoilが更新されます

以前から国境離島活性化推進特別委員会の重点事項として協議を重ねていたジェットfoilの更新について、国の補助事業を活用し、県と壱岐市と対馬市が協調して支援することにより、九州郵船株式会社所有の一隻について、令和10年度の就航を目指して更新を進めることとなりました。

### 建造費の負担割合

(一隻あたりの建造費：約78億円)

|          |       |
|----------|-------|
| 九州郵船株式会社 | 50%   |
| 国        | 25%   |
| 長 崎 県    | 12.5% |
| 対 馬 市    | 6.25% |
| 壱 岐 市    | 6.25% |



更新されるヴィーナス2  
提供：九州郵船株式会社

### 不穏当発言に 厳重注意

令和6年9月定例会最終日における小宮議員の不適切な発言に対して、定例会後に開催の議員全員協議会において、議員はもとより、市民にも不快な思いを与え、議会の品位を失墜させる発言であったため、初村議長より、不穏当発言の訂正、また、発言について厳重注意を行いました。

### 編集後記

元寇750年にあたる今年、対馬市で平和の日を制定してはとの提案がありました。近年、中国・韓国の我が国に対するバッシングは、ことあるごとに蒸し返され、日本が悪であるような風潮が根付いているように思えます。

そこで、今一度、歴史に光をあて、過去にどのような国難があったのか、現在の平和はいかにして築かれたのか、そして、私たちは未来の子どものために何をすべきなのか、対馬市平和の日を期して、皆さんが平和について語りあう一日になればと思います。

(文責…島居真吾)



議会広報編集特別委員会  
【委員長】 陶山 莊太郎  
【副委員長】 入江 有紀  
【委員】 小島 徳重、坂本 充弘、島居 真吾、神宮 保夫